

※発注品の「型式・材質・納期・仕様書記載品以外の同等品認定・その他の内容」等について疑義がある場合は、事前に仕様書記載の担当課へ直接問い合わせること(但し、担当者が一時不在や施設により平日閉庁の場合があるので注意すること)。
 担当課の事前承認なき場合は、仕様書記載どおりに履行すること。
 見積時の質疑・同等品認定、随意契約同への無承認事項の記載、落札後の条件変更等は認めない。

福岡市消防少年団制服 上着 外3件 購入仕様書

- 1 品 名 福岡市消防少年団制服 上着 外3件
- 2 履 行 場 所 福岡市消防局 (6 消防署)
- 3 履 行 期 間 契約締結日から令和8年9月30日まで

内 訳

品 名	規 格	単 位	数 量	備 考
福岡市消防少年団制服 上着	福岡市消防少年団制服 仕様書のとおり	着	80	所属毎数量、サイズ等は 別途指示
福岡市消防少年団制服 ズボン	福岡市消防少年団制服 仕様書のとおり	着	80	所属毎数量、サイズ等は 別途指示
福岡市消防少年団制服 学年章	福岡市消防少年団制服 仕様書のとおり	個	85	所属毎数量、サイズ等は 別途指示
福岡市消防少年団制服 腕章	福岡市消防少年団制服 仕様書のとおり	個	50	所属毎数量、サイズ等は 別途指示
	以下余白			

担当
 消防局警防部消防団課
 木下 優也
 福岡市中央区舞鶴3丁目9番7号
 TEL: 092-725-6658

福岡市消防少年団制服 仕様書

福岡市消防局

第1 総 則

1. 目的

この仕様書は、福岡市消防局（以下「当局」という）において購入する福岡市消防少年団制服について必要な事項を定めることを目的とする。

2. 制服の条件

この制服に使用する材料・付属品は、全般に渡って十分に検査が施され、この仕様書の全てを満足し、仕上りが優良な製品であること。

3. 現場説明

応札者は、応札前に当局の係員から、本仕様書内容及び見本についての説明を必ず受けること。

4. 疑義の解釈

本仕様書の疑義については当局の係員に質し、その指示によって施行完成すること。細部については、当局係員が別途指示することがあるが、本仕様書に記載されていない部分についても、当然必要と認められる部分については、良心的に施行すること。

第2 工程及び自主検査等

1. 工程

契約後速やかに工程表を提出し、当局の指示を受けること。

2. 生地の確認

落札者は契約締結後、速やかに仕様生地について、公的機関の分析結果を提出し、本仕様書内の品質規格書（別紙1）に合致する旨、当局の確認を受けること。

3. 試作品検査

本仕様書による試作品を2着作成し、当局の指定する方法で試作品検査を受けること。その際、試作品に関する繊維会社、特約店等の出荷証明書を提出すること。

4. 納品検査

別途指示する方法とする。

5. 費用

上記2項及び3項にかかる費用は、受注者の負担とする。

第3 納品

1. 納品

1 着毎に袋に入れ、各分団毎に仕分けをし、各署に納品すること。

2. 不良品の処置等

納品後といえども、地質、制式、縫製及び寸法等に不備又は相違があるときは、各署へ出張のうえ、速やかに補修するか取り替えること。

第4 仕様

1. 使用材料

(1) 生地一般

ア、原糸は糸ムラ、番手ムラ、撚りムラなどの目立たない良質のものを使用すること。

イ、織り上がりは均整で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものでなければならない。

(2) 表生地①TM0064 C/紺(指定色)

交織ストレッチトロピカル ポリエステル85%綿15%
植物由来PET繊維50%使用

(特性)帯電防止素材、ストレッチ、吸汗速乾

(3) 表生地②T81902C/オレンジ(指定色)

エコストレッチトロピカル ポリエステル80%綿20%
(再生ポリエステル80%以上使用)

(特性)帯電防止素材、ヨコストレッチ、吸汗速乾

使用箇所は上衣の胸ポケット挿みヒダ内側、背ヨーク、肩章周囲とする。

(4) 袋地

ア、種類は、ポリエステル、レーヨン混紡スレーキとする。

イ、混紡率は、ポリエステル65%、レーヨン35%(標準)とする。

ウ、原糸は、タテ、ヨコとも30Sとする。

エ、組織りは、綾織とする。

オ、色相は、グレー(当本部指定見本による。)とする。

(5) 芯地等は当局の承認を得たものとする。

(6) その他

ア、ボタン

尿素樹脂ボタン径1.5cm紺を肩章×2、前立て×5、天狗×1に使用する。

イ、ファスナー

ズボン前立て(4エフロンc/560)に使用する。

ウ、前カン

良質なものを、ズボン前立て上部に使用する。

エ、糸

地縫い、飾り縫いはナイロン若しくはポリエステルストレッチ糸No.50、穴かがりはポリエステル糸No.30を使用する。色は生地に合わせてのこと。

オ、ゴム

ズボン帯両脇に使用する。(オペロンゴム#10030 白使用)

カ、マジックテープ

YKK面ファスナークイックロン黒を使用する。(上衣両胸、ズボン両P)

キ、裾上げテープ

アイロン接着が容易にできる良質なものを、色は黒もしくは紺

ク、ナイロンベルト

3 cm巾ナイロンベルト 100 cm色オレンジ、ローラバックル団マーク

2. 形状、寸法

形状及び寸法は次のとおりとする。

- (1) 上衣はシャツ型、前ボタン5個止め、半袖カブラーとし、胸左右雨蓋付アウトポケット、肩章及び台襟付シャツカラーとする。
- (2) ズボンはワンタック、裾フリー(裾上げテープ付き)、ファスナー開き、左右脇風琴式箱ポケット付及び後右尻ポケット付とする。ナイロンベルト1本付き
- (3) 前(1)、(2)のほか、別紙2のとおりとする。

3. 縫製

(1) 一般

ア、各部の縫合は、優良で縫い代が適当であること。

イ、縫い目の飛び、はずれがないこと。

ウ、糸調子は縫い目が優良で縫い曲がりがないこと。

エ、縫い目数は、指定通りにすること。

地縫い針数 12針以上/3cm間

飾りステッチ針数 12針以上/3cm間

オ、飾りステッチ幅は約0.5cmで特に指定する部分は端ミシンとする。

カ、飾りステッチは表ミシンとする。

キ、ボタン穴は鳩目かんぬきもしくは、シャツ穴かがりとする。

ク、各部の合標、曲線に十分注意すること。

ケ、アイロン仕上げは十分注意すること。

コ、接着芯を使用する部分は、全て高压加熱式芯張りプレス機を用いて全面接着すること。

サ、布目はパターン指定通りにすること。

(2) 上着

ア、襟

- (ア) 上襟の剣の長さは6cmとし、幅は背中心で3.5cmとする。(標準)
- (イ) 台襟にて上襟(芯を貼る)を挟み縫いし、身頃に縫い付ける。
- (ウ) 上襟は縦地で取り、上襟の周囲(下部を除く)及び台襟の周囲に飾りミシンをかける。
- (エ) 台襟下部に表地共布又は織りテープで幅1.2cm程、長さ5.5cm(標準)の襟吊を縫い付ける。

イ、袖及びカフス

- (ア) 袖は1枚袖とし、袖縫いはインターロック縫いとする。
- (イ) 半袖で袖口はカブラー仕様、巾は2cm程
- (ウ) 左袖には袖山から4.5cmの所に直径5cmの○黒台座を縫い付ける。

ウ、袖付け

- (ア) 袖付けは身頃のくりをのばさないようにインターロック又は地縫い片倒し1条の端ミシン縫いとする。
- (イ) 裁ち目はオーバーロックかがりとする。

エ、脇縫い

- 袖と通し縫いし、インターロック又は地縫い裁ち目オーバーロックかがりとする。

オ、胸ポケット

- (ア) 左右前身頃に挿みヒダ付アウトポケットを2個付ける。
- (イ) ポケットは端飾りミシンで縫い付ける。
- (ウ) 口布は2cm以上とし、内側へ折り返して端は押え縫いし、裁ち目はオーバーロックかがりとする。
- (エ) ポケット中央部に左右深さ3cmの挿みヒダを取る。(挿みヒダ内側表生地②使用)
- (オ) 口の両端にミシンかんぬき止め(4回以上)をしっかりとし、上部中央にマジックテープA面(オス)を付ける。
- (カ) 形状は口幅11.5cm、中央深さ12.5cm程とし、両端下部は丸型とする。
- (キ) 雨蓋は芯を入れて地縫い返しし、中央にマジックテープB面(メス)を付け、周囲に飾りミシンをかけ身頃に挟み込み縫いをする。横12cm縦5cmの上がりとする。
- (ク) 左ポケットの上1cmの所に横8.8cm×縦4cmの名札台座マジックテープ黒を縫い付ける。

カ、前合わせ

- (ア) 前合わせの開閉はボタン式とする。前立て5個

(イ) 上前は、巾 3.2 cm の帯を付ける。

(エ) 上前台衿下から等間隔でボタン穴かがりを付け、下前にはボタンを付ける。

キ、肩章

(ア) 地縫い返しをして周囲に端飾りミシンをかけ、先端にボタン穴をかがる。

縁全体には配色オレンジのバイアステープ (4 mm 表出) を縫い付ける。

端には 3.5 cm の所までクロスステッチをかける。

(イ) 肩章は袖付けに挟み縫いをして、端から 3.5 cm 程の所を身頃にたたき縫いする。

ク、ヨーク

前後ヨークとも、下端は身頃と地縫い返しし、裁ち目はオーバーロックかがりとする。背ヨークに「福岡市消防少年団」と角ゴシックで黒のプリントをする。

(別紙 3 参照) タテ約 4 cm ヨコ約 25 cm

背ヨーク高さは約 11 cm (標準) とする。

ケ、背ヒダ

深さ約 1 cm のヒダを左右に各 1 本取る。

コ、裾

三つ折り、幅 2 cm 上がりとし、端縫いする。裾は水平式とする。

サ、氏名札、サイズ札

氏名札、サイズ札は襟腰下部に縫い付ける。

(3) ズボン

ア、脇ポケット

(ア) 左右脇に雨蓋付き風琴式箱ポケットを縫い付ける。

(イ) ポケットの位置は、脇縫い線に中心を合わせ上から約 18 cm の位置に縫い付ける。

(ウ) ポケットは、後側・底部にマチを入れ前側は押え縫いする。マチ幅は 3 cm とする。形状は口幅 15 cm 深さ 16 cm とし、中央上部にマジックテープを縫い付ける。口の両端にはかんぬき止めをする。

(エ) 雨蓋は芯を入れて地縫い返しし、周囲に飾りミシンをかけ、身頃に縫い付ける。雨蓋は、横 15.5 cm、縦中央 6 cm 上がりとする。

イ、尻ポケット

(ア) 右側に 1 個、口巾 11.5 cm の片玉縁付ポケットとする。

(イ) ポケット周囲は端ミシンをかけ、口の両端はかんぬき止めをする。

(ウ) 向当布は幅 5 cm 以上、裁ち目はオーバーロックかがりとし、袋地に縫い付ける。

(エ) ポケット袋は地縫い返しし、飾りステッチをかける。

- (オ) 上端は、表裏とも必ず 1cm 以上腰飾りにかかるようにする。
- ウ、タック
外向きに深さ約 1.5cm のタックを左右各 1 本取る。
- エ、腰ダーツ
左右腰後部に各 2 本取り、後へ倒す。
- オ、天狗及び前立て
(ア) 天狗は芯を入れ、裏と地縫い返しし、奥はオーバーロックかがりとする。
(イ) 天狗の先端に釦穴をかがる。
(ウ) 前立ては芯を入れ、表裏を地縫い返しし、奥の裁ち目は芯と共にオーバーロックかがりとする。
(エ) 前立て飾りは幅約 3.5 cm とする。
(オ) 天狗、前立て上部に前かんを付ける。前立て上部裏には釦を縫い付ける。
(カ) 小股かんぬき止めをする。
(キ) 小股かんぬきの約 1.5 cm 上に、天狗裏側から前立てと共にかんぬきを入れる。
- カ、ファスナー付け
(ア) 天狗側は身頃端を折り、天狗との間にファスナーを挟み、縫い付ける。
(イ) 前立て側は前立て裏にファスナーの上端を二つ折りし、2 条縫いをする。
- キ、脇縫い及び内股縫い
(ア) 地縫い割りとする。
(イ) 裁ち目はオーバーロックかがりとする。
- ク、尻縫い
(ア) 片倒し縫いとし、二重縫い又はかん縫いミシンとする。
(イ) 上部の縫い代は 2cm 以上とし、裁ち目はオーバーロックかがりとする。
(ウ) 棒シックをミシン縫いする。
- ケ、腰裏
(ア) 共地を使用し、両端はそれぞれ天狗と前立ての前かんの下まで入れる。
- コ、腰帯
両脇に各巾 3 cm × 長さ 5 cm 程のゴムを入れる。各 3 cm 程伸び計 6 cm は伸びる様に縫い付ける。
- サ、ベルト通し
(ア) 5 本付けとする。
(イ) 高さ 5.5 cm 巾 3 cm とする。
(ウ) 取付位置は、ズボン上端より 0.5cm 下りとし、上部は 0.5cm 浮かして付ける。

(エ)ベルト通し付けは、上部は2回地縫いして倒す。下部は身頃にたこ巻き縫いする。

シ、裾

フリーで下部にオーバーロックをかける。裾上げテープ1個付ける。

ス、氏名札、サイズ札

氏名札は裏上部もしくは、後ろポケット袋地へ、サイズ札は表地とマーベルトの間に縫い付ける。

セ、ナイロンベルト オレンジ3cm巾

ズボン1本にベルト1本付ける。100cmローラー式バックル付(団マーク入)。

(4) 名札、腕章、学年章

別紙4により製作のこと。

第5 採寸

(1) 別紙5により製作のこと。

(2) 特寸者については、原則として出張採寸とする。

(3) 補正事項は確実に実施すると共に、指定号数仕上げの上で補正を実施すること。

(例 ズボン指定号数5Cウエスト-3cmについて4Cとして仕上げるなどは許されない)

(4) 胸囲については、ヒダつまみ状態での寸法とする。

品質規格書

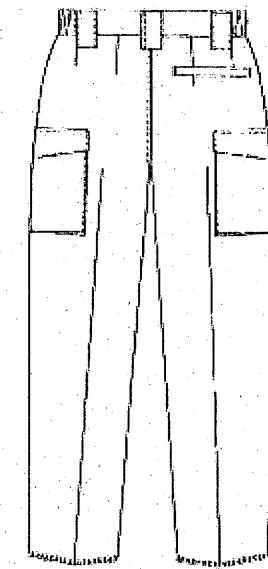
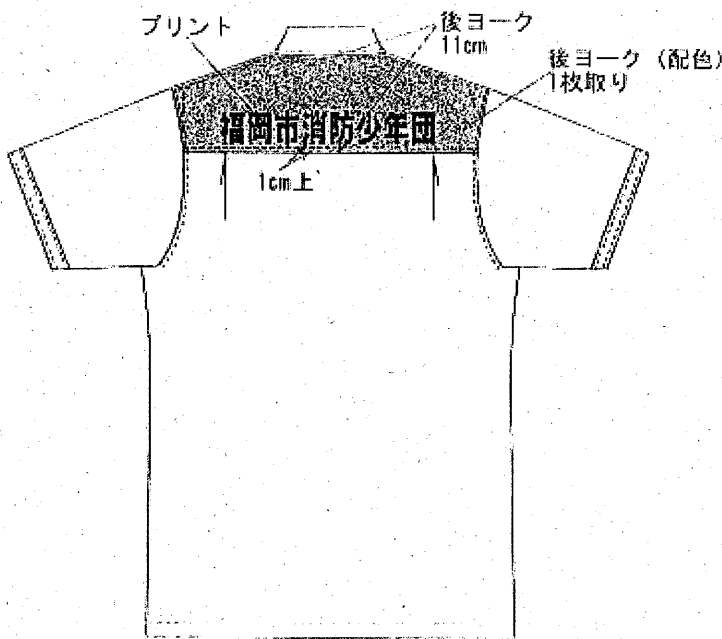
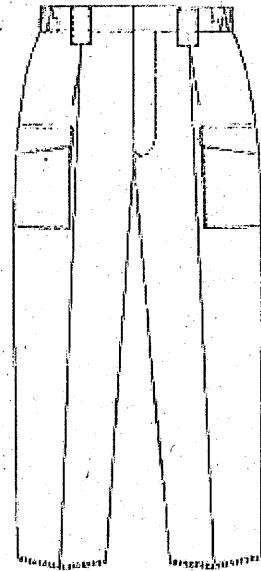
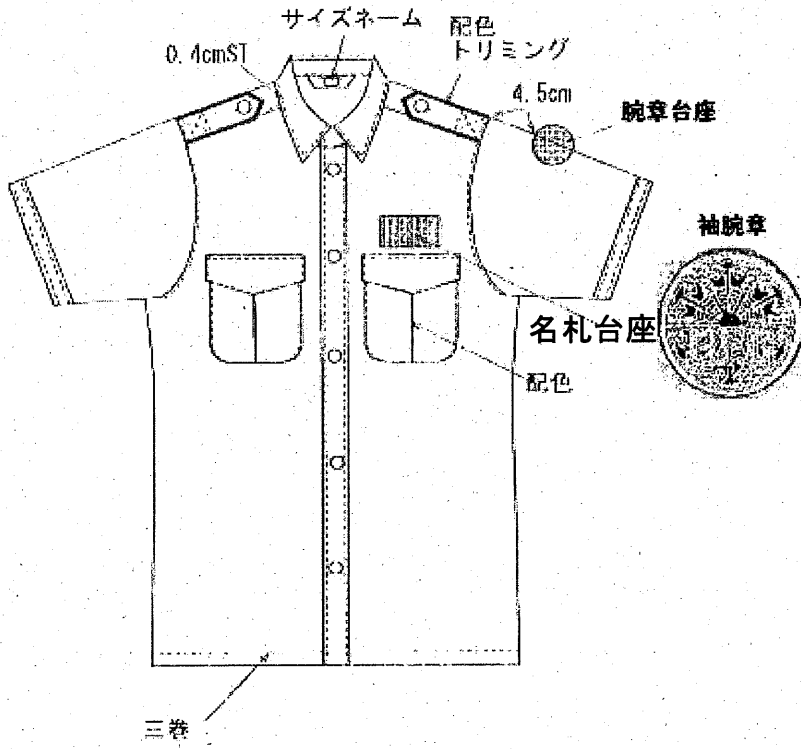
品名 織地 (盛夏作業服 表生地) TM0064 【植物由来 PET 繊維使用】

試験項目 混用率外 18 項目

試験項目	規格値	試験方法
① 混用率	ポリエステル 85% (±5%) (植物由来 PET 繊維 50%以上) 綿 15% (±5%)	JIS L 1030-2
② 見掛番手 見掛織度	たて 45/2 ^s 標準 よこ 330dtex 標準	JIS L 1096 織物 A 法
③ 組織	平織	JIS L 1096 織物 A 法
④ 密度	たて 65 本 (±5 本) よこ 53 本 (±5 本)	JIS L 1096 織物 A 法 2.54 cm 間
⑤ 質量	165 g/m ² (±5 g)	JIS L 1096 A 法 標準状態
⑥ 引張強さ	たて 700N 以上 よこ 1000N 以上	JIS L 1096 A 法 (フールドスリップ法) 試験片幅: 5 cm 引張速度: 20 cm/min 定速伸長形
⑦ 引裂強さ	たて 37N 以上 よこ 40N 以上	JIS L 1096 D 法 (ベンゾラム法)
⑧ ピリング	4 級以上	JIS L 1076 A 法 10 時間
⑨ 寸法変化率	たて ±2% 以内 よこ ±2% 以内	JIS L 1096 織物 D 法
⑩ 伸長率	よこ 12% 以上	JIS L 1096 B 法
⑪ 摩擦帯電電荷量 ($\mu\text{C}/\text{m}^2$)	7 $\mu\text{C}/\text{m}^2$ 以下	JIS T 8118 摩擦帯電電荷量測定法 洗濯: JIS L 0217 103 5 回後 注水すぎ (常温、20 分間) 1 回 タンブル乾燥 測定環境: 温度 20±2°C、湿度 30±3%RH
⑫ 吸水性	60mm 以上	JIS L 1907 バイレック法 前処理: JIS L 0217 103 法 吊干し 3 回繰返し
⑬ 速乾性	40 分以下	水約 0.6ml 滴下、拡散性残留水分率が 10% に いたるまでの時間 (5 分毎に測定) 裏面より滴下 試料: 10×10 cm 前処理: JIS L 0217 103 吊干し 3 回繰返し 測定環境: 温度 20±2°C、湿度 65±4%RH

⑭	洗濯 堅牢度	変退色		4-5級以上	JIS L 0844 A-2号	
		汚染	ポリエステル	4級以上		
			綿	4級以上		
⑮	汗 堅牢度	酸性	変退色		4-5級以上	JIS L 0848
			汚染	ポリエステル	4級以上	
				綿	4級以上	
		アルカリ性	変退色		4-5級以上	
			汚染	ポリエステル	4級以上	
				綿	4級以上	
⑯	摩 擦 堅 牢 度	乾燥		4級以上	JIS L 0849 摩擦試験機Ⅱ形	
		湿潤		3-4級以上		
⑰	耐光堅牢度			4級以上	JIS L 0842 第3露光法	
⑱	測 色	色相		6.7PB	JIS Z 8721 マンセル記号	
		明度		2.0		
		彩度		2.0		
⑲	色差 (ΔE^*ab)			標準色に対して0.8以内	JIS Z 8781 L*a*b*表色系 標準色は(一財)日本繊維製品品質技術センター 東部事業所が管理	

別紙 2



股下
ハーフ仕上げ

福安市消防少年团

名札



大きさ 縦 4 cm 横 9 cm

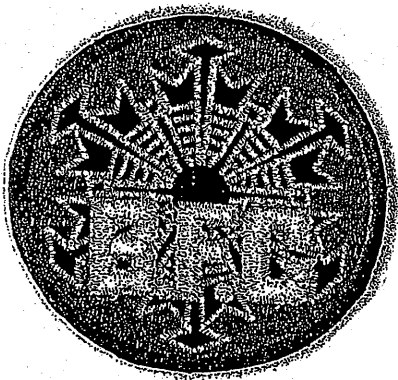
台色 エンブクロス紺

縁色 紺刺繍

文字色 金茶刺繍

裏マジック加工 黒A面

腕章



大きさ 直径 5 cm 裏マジック加工

黒A面

台色 東 赤 南 緑

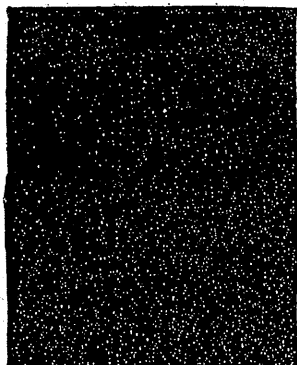
博多 黄 早良 水色

中央 紫 西 橙

B. F. Cマーク ピンク縁シルバー

署マーク紺縁シルバー

学年章



大きさ 横 4 cm 縦 5 cmのループ

サテン生地

4年生 緑

5年生 黄

6年生 赤

福岡市消防少年団 制服 サイズ表 (男女兼用)

上着	ネック	着丈	肩幅	B	中W	袖	ズボン (脇ゴム)	W	H	股上	ワタリ巾	裾巾	股下
SS(特小) 100	32	58	33	80	76	14	SS(特小) 100	50~56	73	20	25	17	65ﾌﾘｰ
S (小) 120	34	60	36	86	80	16	S (小) 120	55~61	76	22	27	18	65ﾌﾘｰ
M (中) 140	36	62	39	92	84	18	M (中) 140	60~66	83	24	29	19	70ﾌﾘｰ
L (大) 160	39	64	42	98	90	20	L (大) 160	65~71	90	26	32	20	75ﾌﾘｰ
LL (特大) 170	42	66	45	104	96	22	LL (特大) 170	70~76	97	28	35	21	75ﾌﾘｰ
3-L (特々大)	45	68	48	110	102	24	3 L (特々大)	75~81	114	30	38	22	75ﾌﾘｰ

サイズ100~170cmは推定です。

裾上げテープ付き

